

af imp.

WORLD

世界中には、まだまだ僕らが知らない、魅力的なチューナーズパーツがある。
海外からの最新ニュースを、afインプのネットワークを駆使して収集、厳選！
渾身の最旬スタイル&パーツだ。今回も完全保存版として楽しんで欲しい!!

TRENDS



ブラッシュアップして再登場、2トーンパッケージのS-Class

<http://www.art-tuning.com>

A_R_T Tuning Mercedes Benz S-Class

W221用新作エアロプログラムがドイツのA_R_Tチューニングからリリースされた。意表を突いた2トーンカラー、フォグランプ一体式のフロントバンパー、そして新デザインのグリルなど、A_R_Tチューニングの独創的なスタイリングアプローチに注目だ

・フォグランプの配置を変更して、エアインテークに奥行をつけたフロントバンパー。そしてエンブレムはボンネットフードと同色に加工。センターにはA_R_Tバッジをセットした



↑エアマテックとABCシャシーに対応したA_R_Tのエレクトロニックペンションシステムでロワード、約35mm車高を落としている。シルキッドフェイスが特徴のホイールはmono ART1。20インチをインストール

4月某日、Sクラス用モディフィケーション第2弾のニュースが、ドイツのA_R_Tチューニングから報告された。写真の2トーンSクラス以外にも、VIANOと新作ホイールを同時にリリース。ホイールのニュースについては本誌のニュースページで紹介するとして、ここではSクラスのディテールをお見せしよう。

まずは得意のライトアレンジから。バンパーにインストールしたのはデュアルプロジェクターフォグランプになる。2トーンペイントについても説明すると、W221アヴァンギャルドと、スポーツラインモデルの特装色をそれぞれトップとボトムに配したとのこと。そしてフロントグリルはA_R_Tエンブレム付きカラードグリルに変更して、ロング

ノーズを突出した「スモールチェンジをインパクトのあるカタチで表現したかった」とはA_R_Tからのコメント。フロント部分のみを変更しサイドとリアは同社の「プログラム221」を装着した。

Sクラス用パワーアップグレードキットを、A_R_Tはディーゼルエンジン、そしてガソリンモデルそれぞれに設定。600にはECUモディファイによる最高出力572馬力を可能にする「A60T」キットを用意。またS350には、スタンダードモデルに比べて100馬力強もパワーアップを可能にする「AK35」キットを提案している。内容はインタークーラー付きスーパーチャージャーキットと、ECUモディフィケーション、オイルクーラー、ヒートエクスチェン

ジャーになる。この他V-Maxユニット、ディーゼルエンジン各タイプに向けたECUアップグレードメニューをラインナップした。

最後にインテリア用エキップメントを紹介しよう。エゴノミックシェイプのステアリングホイールは、写真のようにカラーオーダー、そして素材のリクエストにも答えられる。そしてイエローのイルミネーションライトを備えたステンレス製ステップライトを、ラインナップ。フロントア、そしてリアドア用の計4ピースを、ロングボディとショートボディ用にそれぞれ用意した。またイルミ付きを希望しないユーザーにも、A_R_Tのロゴ入りステンレススチール製エントランスパネルを設定している。



↑リアにはトランクリッドとリアエプロンを装着。φ80クロームフィニッシュのA_R_T4パイプを覗かせた。エクゾーストシステムの素材にはステンレススチールを用いている

→2トーンのボディカラーに合わせてコーディネートしたレザー×アルカンターラのインテリア。ヘッドレストにステッチを入れたり、シームを設けたりといったリクエストにも応えている

↓ルーフにも注目!! アルカンターラで細部に至るまで張り替えを行っている。また写真のようなカーテンも用意した。リアドア、リアウィンドウ用に設定し、電動でオープン/クローズするオリジナルの「カーテンシステム」を装備したインテリア

